

一般演題6-3

診療報酬改定前後の診療科別による施行件数変化

杉山知泰¹⁾ 長谷川将太¹⁾ 船田寿成¹⁾

水野琢呂¹⁾ 三輪直毅¹⁾ 加藤恭浩¹⁾

水谷喜雄²⁾ 斎藤史郎²⁾ 金田英巳²⁾

山田実貴人²⁾

- 1) 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 臨床工学課
2) 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 救急部門

【はじめに】

2018年4月より高気圧酸素治療（以下HBO）の診療報酬が大きく増点し、疾患ごとに施行回数の上限が定められた。当院では一種装置を用いて、耳鼻科を中心に様々な診療科の疾患に対してHBOを施行しており年間1800件超の施行を行っている。診療報酬改定前後における診療科別、施行件数の変化について報告する。当院ではセクリスト2800Jを使用し専門医1名専門技士2名の体制で施行している。

【方法】

当院で施行したHBOの内2017年度の施行件数と2018年度（11月末）を集計し、比較した。

【結果】

	2017年度	2018年度 (11月末)
耳鼻科	473	460
救急科	192	41
循環器内科	481	105
外科	155	310
皮膚科	111	54
泌尿器科	63	177
脳外科	40	12
整形外科	36	128
形成外科	9	9
消化器内科	0	26
口腔外科	0	20
内分泌内科	0	16
腎臓内科	0	3
合計	1,560	1,361
1ヶ月の平均件数	130	170.125

診療科は9科から13科へ増加、それに伴い実施依頼をする医師が30名から37名へ増加した。特に外科、泌尿器科、整形外科で件数の伸びが著しい。一ヶ月あたりの施行件数は130件→170件と増加した。

【考察】

依頼診療科が増えたことにより、HBOに関わる病棟スタッフが増加した。一日あたりの件数も増加したため夜勤帯や土日祝などスタッフの少ない時間帯に施行する場合がみられた。2018年度件数は8ヶ月のみの集計だが、すでに前年度の件数に迫っている。

【問題点】

件数が増加したため、より安全に施行しなければならない。対応する疾患が増えたためスタッフの治療に対する深い知識が求められる。様々な疾患に対して施行するためドレーンやカニューレをつけたまま施行しなければならない場合がある。

【結語】

診療報酬改定によりHBOの施行件数は増加した。関わるスタッフが増えるため安全に対する意識のより一層の向上や啓蒙活動が必要である。